

第 20 回 YGN 若手勉強会
「OECD/NEA で働く若手日本人職員に聞く。」

主催： 日本原子力学会 若手連絡会

日本原子力学会・若手連絡会（YGN）は、第 20 回 YGN 若手勉強会「OECD/NEA で働く若手日本人職員に聞く。」を開催致します。

本勉強会では、経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)に勤務する同世代の日本人職員を招き、OECD/NEA の活動やそこから見える原子力の国際的な動向、また、OECD/NEA での仕事内容ややりがいについてご紹介いただきます。また、これらの国際動向が日本の原子力業界や私たちの仕事へ与える影響等について“ざっくばらん”な意見交換を通じて、私たちのこれからの活動やキャリアについて考える場とします。お気軽にご参加ください。

- 記 -

【日時】 2021 年 8 月 29 日（日） 17:00 – 18:30（懇親会～20:00）

【場所】 Zoom 会議

【プログラム】 1. 講演「OECD NEA の活動とそこでの経験について(仮)」
2. 質疑応答
(終了後 懇親会)

【講演者】 熊谷裕司 (OECD/NEA 原子力安全技術・規制課*)
倉田拓音 (OECD/NEA 放射性廃棄物・廃止措置課*)
前橋優子 (OECD/NEA 放射性廃棄物・廃止措置課*)
後藤弘行 (OECD/NEA 原子力技術開発・経済性課*)
* 講演および質疑応答の内容はすべて講演者個人の見解であり、OECD/NEA の公式見解を表すものではありません。

【対象】 原則として、原子力・放射線分野に従事する 39 歳以下の若手・学生が対象です。
原子力学会の会員である必要はありませんが、原子力学会員優先となります。

【定員】 80 名程度（会員優先、先着順）

【参加費】 無料

【申込/問合せ】 参加希望者は、**8 月 25 日（水）17 時**までに以下よりお申込ください。

お申込フォーム：<https://forms.office.com/r/ri3A0pd9Cq>

* アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

* ご登録後、翌日の 17 時までに登録確認メールをお送りいたします。

日本原子力学会 若手連絡会（担当：川合康太（三菱総合研究所））

メール：kota_kawai@mri.co.jp

【備考】

YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

また、本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

<YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽，分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016 年 10 月より継続的に開催。

第 1 回	「もんじゅを見つめ直す」	2016 年	10 月
第 2 回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017 年	2 月
第 3 回	「原子力の将来とイノベーション」	2017 年	4 月
第 4 回	「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017 年	10 月
第 5 回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017 年	11 月
第 6 回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018 年	2 月
第 7 回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018 年	5 月
第 8 回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70 年の苦闘』」	2018 年	7 月
第 9 回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018 年	12 月
第 10 回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019 年	1 月
第 11 回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019 年	5 月
第 12 回	「原子力防災に携わる。－現場から研究室、そして現場へ－」	2019 年	9 月
第 13 回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019 年	11 月
第 14 回	「宇宙探査における原子力利用」	2020 年	9 月
第 15 回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020 年	12 月
第 16 回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021 年	1 月
第 17 回	「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」	2021 年	6 月
第 18 回	「2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？」	2021 年	6 月
第 19 回	「メディアを知る」	2021 年	6 月